

## ▼コントロール錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 クロルジアゼポキシド chlordiazepoxide 【分類】 マイナートランキライザー

【単位】 ▼5mg・▼10mg/錠

【常用量】 20～60mg/日

【用法】 1日2～3回

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期CKD患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【特徴】 ベンゾジアゼピン系マイナートランキライザー。半減期が長く、心身症、うつ病、神経症などに適用される。

【主な副作用・毒性】 眠気、ふらつき、めまい、依存症、黄疸、白血球減少、悪心、嘔吐、口渇、光線過敏症、脱力感、浮腫など

【ka】 3.715±0.431/hr (1)

【F】 100% (1)

【tmax】 1hr (1)

【代謝】 肝臓で脱メチル化されてデスメチルクロルジアゼポキシドに、さらに脱アミノ化されてデモゼパムに、還元を受けてデスメチルジアゼパムに更に水酸化されてオキサゼパムに代謝 (1) これらの代謝物には活性がある (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率0.51～1.3% [po, 48hr まで] (1) 【CL】 血漿クリアランスは年齢と逆相関 (1) 0.38±0.05mL/min/kg (1)

【t1/2】 20hr (1)

【蛋白結合率】 94.7±0.6% (1)

【Vd】 α相0.14±0.01L/kg, β相0.30±0.32L/kg (1)

【MW】 299.75

【透析性】 低いと思われる (5)

【O/W係数】 LogP=2.5 [1-オクタノール水系, pH7.4] (1) 【pKa】 4.6

【更新日】 20180428

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。